

海陽町立小・中学校の再編に係る地域住民説明会 報告書

目次

1	地域住民説明会概要	1
2	地区別説明会報告	2
	穴喰地区	2
	海部地区	3
	海南地区	4
3	地域住民説明会アンケート調査結果	5
4	地域住民説明会資料	7

Ⅰ 地域住民説明会概要

2026年7月13日から2026年7月15日まで、町内3地区で、海南小学校と海部小学校の令和10年度統合に向けた具体的な進め方と今後の町内小中学校再編に関する基本方針についての地域住民説明会を実施しました。

住民説明会開催概要

●3地区の参加者数は、延べ84人でした。

実施日	7/13	7/14	7/15	計
地区	穴喰地区	海部地区	海南地区	
会場	海陽町役場 穴喰庁舎 3階ホール	海陽町役場 海部庁舎 3階大会議室	海南文化館 大会議室	
時間	19:00～ 19:45	19:00～ 20:30	19:00～ 20:15	
参加 住民数	14人	39人	31人	84人

広報 海陽や町ホームページへの掲載等で地域住民の方々の参加を呼びかけました。

2 地区別説明会報告

地区	穴喰地区	開催日	2026年7月13日（月）
会場	穴喰庁舎 3階ホール	開催時間	19:00～19:45
出席者数	14人		

質疑応答内容（抜粋）	
地域住民	事務局
Q1. 学校あり方検討委員会の構成メンバーを教えてください。 穴喰小学校、穴喰中学校の統合については、海南小学校と海部小学校が統合してできる新しい学校や海陽中学校に統合される形になるのか、展望を教えてください。 浅川小学校と川上小学校の跡地活用はどうなっているのか。	A1. 委員会のメンバーは、委員長に学校の元校長を選出。そのほか、小中学校のPTA会長が保護者代表として参加するほか、地域住民代表として海南・海部・穴喰の各地区から代表者に参加いただいている。 生徒数の減少や部活動の状況により、中学校1校の体制を経たうえで、小学校を統合することも考慮することが望ましいと考えている。 吸収となるのか等、統合の方針については今後のあり方検討委員会で示す。 浅川小学校と川上小学校の跡地活用については、校舎の耐震補強がなされていないため、倉庫として利用している。
Q2. 穴喰小学校と穴喰中学校はチェーンスクールに指定されている。この制度を継続していることについて、穴喰地区に学校を残していくという意味で捉えていた。あり方検討委員会の意見として、チェーンスクールは難しいのか。	A2. 海陽中学校での連携も含め、チェーンスクールの形をとろうとする流れはある。ただし、人口減少の影響で質の高い教育環境が維持できない。複式学級を避けるため、将来的には1校1校体制となる。複式学級が免れない状況になるまでは、チェーンスクールを継続したい。
Q3. 統合後のバス通学についてと、海部小学校の跡地活用の見通しについて説明してほしい。	A3. スクールバスは準備委員会で話を進めることになる。 海部小学校の跡地活用については、浅川小学校・川上小学校とは異なり耐震の基準を満たしているため、活用が見込める。地域活性化につながるような活用方法を、教育以外の分野を含め検討する。これについても検討委員会で話が上がってくると思われる。

地区	海部地区	開催日	2026年7月14日（火）
会場	海部庁舎 3階大会議室	開催時間	19:00～20:30
出席者数	39人		

質疑応答内容（抜粋）	
地域住民	事務局
Q 1. 1校1校体制に移行する際、開校予定の学校について、小学校と中学校の両方を高台に新設するのか。	A 1. 1校1校体制への具体的な再編時期・場所については現時点では検討前段階。検討する状況になれば、前もって住民説明会を実施し、地域住民の意見を伺う。
Q 2. スクールバスや運転手の確保の予定・見通しについて教えてほしい。	A 2. スクールバスで全員を送迎する予定だが、送迎のルートやバスの台数などについては今後学校再編準備委員会の中で検討する。
Q 3. 統合に伴い、放課後子ども教室も1つになるのか。 海南こども館に統合するのであれば、建物の修繕などを早く対応してほしい。	A 3. 通常であれば、1つの放課後子ども教室に統合される。具体的には、海南こども館に統合されると考えられる。2か所に設置する場合、小学校跡地も候補となる。この点については、準備委員会の中で検討する。 海南こども館を利用する場合、安心安全な環境を確保するため、修繕を検討する。
Q 4. 統合後も海部小学校の特色（ICT教育、手厚い特別支援など）は受け継がれるのか。 受け入れ先の海南小学校では、これらの特色を受け継ぐための十分な時間や人員確保などがなされるのか。	A 4. ICT教育など特色ある部分には人材や費用を確保できるよう教育委員会も力を入れる。特別支援については、どの学校でも基本は同じと考えている。他地区の教員からの評価はどの地区も高い。 海部小学校の教員の海南小学校への配置について県教育委員会に要望する。また、町費教員については、特色となる教育が定着するまでの間は多めに配置することも検討する。

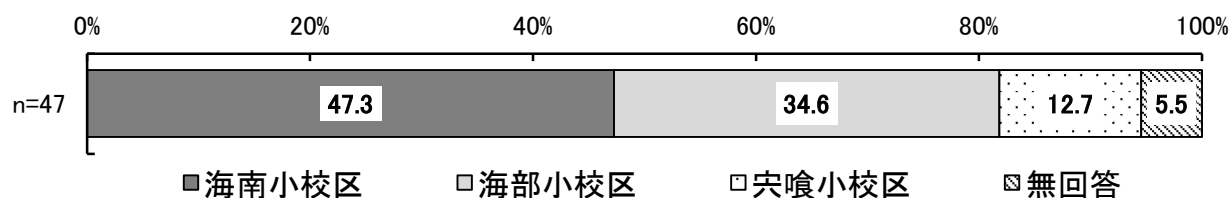
地区	海南地区	開催日	2026年7月15日（水）
会場	海南文化館 大会議室	開催時間	19:00～20:15
出席者数	31人		

質疑応答内容（抜粋）	
地域住民	事務局
Q1. 統合について、子どもたちがどうしたいのか意見やアンケートはとったのか。	A1. 子どもには聞いていない状況。 海部地区の話の中でも子どもの意見を聞いてほしいという意見があったため、今後子どもの意見を伺う。
Q2. 海部地区の子どもや保護者は統合を了承しているのか。	A2. 海部地区の住民にアンケート調査を実施したところ、賛成、反対の両方について様々な意見が出ていた。海部地区の説明会では現状のまま残してほしいという意見もあった。統合に向けた不満もあるため、全員賛成は厳しい。
Q3. これまでにあり方検討委員会で議論した内容を発信してほしい。また、準備委員会の協議内容も発信してほしい。	A3. あり方検討委員会の議事録は町の広報で連載で発信している。準備委員会も同様に発信。

3 地域住民説明会アンケート調査結果

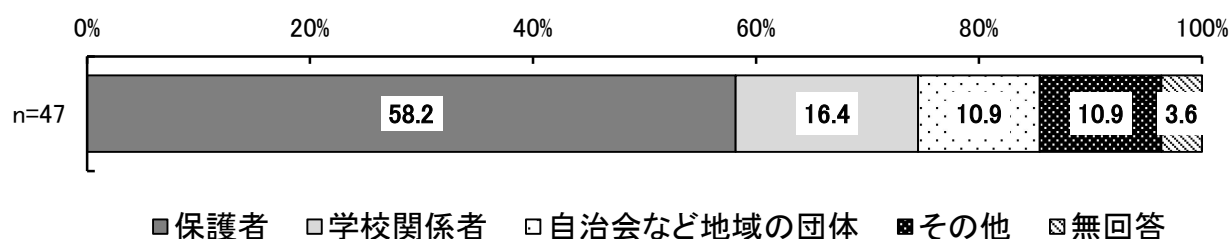
問1 お住いの地区はどこですか（○は1つ）

参加者のお住いの地区についてみると、「海南小校区」47.3%、「海部小校区」34.6%、「穴喰小校区」12.7%となっています。



問2 あなたの立場を教えてください。（○は1つ）

参加者の立場についてみると、「保護者」の割合が58.2%と最も高く、次いで「学校関係者」16.4%、「自治会など地域の団体」「その他」10.9%となっています。



その他の内容

・ 地域住民 ・ 保育所職員

問3 海部小学校と海南小学校の再編統合について、令和3年から今まで、地域の意見を聞き、学校のあり方検討委員会での審議結果を住民説明会や町の広報で説明を繰り返し、合意形成を進めてきたことについてどう思いますか。（自由記述）

◆海南小校区住民の意見

・保護者の意見

集まる機会の日程が少ないのではないかな。仕事や私用で行けない人もいるので何か、皆、町全体での意見が聞けるようにしてほしい。 人口が減少しているのはしかたのない問題だと思う。子ども達にとって一番の改善になるように願っている。 海南、海部が1つになる。離れている穴喰が何年後かに一緒になるが小学校それぞれの特性を生かした学校に将来なったらいいと思う。 防災にも力を入れてほしい。
まだ詳細が決定しておらず、これからだとは思いますが、もう少し広報に力を入れてもよいのではないかと思います。町民の中にも気にしている人は多いイメージをもっています、そのわりに情報量が少ないかと思います。
・保護者や家庭環境で、子どもたちに不利がでないようなシステムにしてほしい。 ・グローバル等の教育を進めていく中で、人的・経済的に学業の差ができるのではないかと懸念している。 ・今日の説明会（穴喰・海部・海南）での質問、意見の内容をまとめて公開してほしい。 ・子どものアンケート・意見がない。
海部小の少ない人数での学習の良い所と、人数が増えたときの良さを取り入れてほしいです。
なっとくはできない。
子どもたちの生活の中心になる学校という場。再編にあたってのメリット・デメリットはあると思いますが、子ども時代をすごした大人たちが、今の子どもたちの未来を真剣に考え、出した答えに正解・不正解はなく、思いや考えを伝えていくことが大事で、その後の学校運営をプラスになるように進めていくことが大切。
何十年も前から1つの町（海陽町）になっているので、穴喰、海部、海南と分けず、1校1校体制が自然だと思うので、進めるべきだと思います。（残したいのであれば、昔の竹ヶ島のように分校を検討するとか？）
いろいろな意見も人それぞれですし、自分たち（親）が通ってきた学校がなくなるのがさみしい。とか、考えがいろいろあるので、何度かの説明会などがあって良かったと思います。委員会の方たちも大変なのに、よく考えてくれてありがたいと思います。
問題なし
このまま進めて頂いてかまわないと思います。教職員の方々の意見を丁寧に聞いてもらえたらと思います。
統合反対している人もたくさんいますが複式学級になるよりは統合した方が子供達にもいいと思います。 海南中学校、海部中学校も統合して海陽中学校になっているし、小学校の統合は自然なことだと思います。
学校の存続は地域の活力の衰退にも直結するため、地域住民の意見を聞くことは大切なことだと思います。

会の中で、「子どもの気持ちを大切に」との意見がありましたが、年齢的にも良い判断、正しい判断をするのが難しいところもあるのかなと思いました。複式学級になることで、どのようなデメリットがあるのかという点をもう少し理解してもらえると良いのかなと思います。一人の保護者として、統合は適切な判断であると思います。

海南小学校の場所を考えられているということでしたが、災害時のことを考えると違う場所に可能な限り早く移設してもらえると安心です。

今回の説明会で複式学級化が数年後には海部小学校ではさけられない現実であるので、合意形成を今のまま着実に進めていってこれればと思います。

・教育関係者の意見

丁寧に段階をおって検討されたと思う

- ・生徒数の減少により、統合はしかたのないことであると思いますが、地域から学校が消えることは地域の活性化という観点からも大きな問題であると思います。
- ・地域の意見を十分くみとり、十分な説明が必要であると思います。

・自治会など地域の団体の方の意見

学校あり方検討委員会の役割は大きいと思います。構成メンバーはどなたがどういう基準で決められたのですか。保護者の声が、住民の声がきちんと審議に生かされていますか。

この事について住民と話し合いの場をもっともうけていたら良かったのでは？と思います。

・その他の立場の方の意見

学校再編統合と南海トラフ地震に対する緊急性に基づく高台移転や通学方向などを時間軸を明確に示す機会が遅れてしまっている。

良いと思います。内容を細かく（わかり易く）教えてもらえるようにして頂ければさらに良いです。

ていねいにデータを集め、話し合いを進めてきたことがよくわかりました。せっかく素晴らしい資料だったのに、説明会のプレゼンがすこし伝わりにくかったように思います。よりよい統合ができますよう祈っています。

今まであまり関心を持ってかわってこなかったのですが、これまでの流れは理解できてはいません。けれども、これからのまちの重大な問題なので「令和10年統合する」というビジョンを明確にし、その上でいろいろな立場の方が意見を出しあい、子どもたちの明日を考えていければと思います。

令和3年度から再編統合について話し合われていたようですが、くわしい経緯がわからない状態ではないかと思う。海南は受け入れ側なので、危機感は少ない。海部小学校の保護者の要望をとり入れ、進めていってもらいたい。

◆海部小校区住民の意見

・保護者の意見

再編統合についての説明はするけれども、そうならないためには、という話し合いや意見交換がなかったように思います。各地域でもかかえる問題 統合したくない方は、ICT 教育を使って複式学級にならない方法はないのでしょうか？なお、遠い地域の子供達との交流になるのではと思います。統合することが、地域活性化とは思いません。
住民説明会での説明は、ありがたいと思いました。間があいたので、その間にどれくらいすすんでいるのかが少し分かりにくいと思いました。町のホームページも、どこに情報がのっているのかわかりにくいと感じました。
学校を1つにするという大前提で話が進んでいるようにはずっと感じています。 子どもが入学前に他県も含めて、いろいろな学校見学に行き海部小学校がよくて海陽町に残る事を決めました。データで見れば子ども減っている、そこもわかりますが、何とか海部小学校として残ってほしい、と思うのが本音です。
統合しないですむような道を考えてきたのか、不明瞭。移住促進と関わることだと思うので、力を入れた県外への発信をすべき。
減少していく児童数で統合はしかたないと思いますが子どもたちに説明しているのか大人の都合ばかりをいわないでほしい 海部小だからこそすくわれている子はたくさんいるとおもいます。 とにかく子どもファースト！子どもを一番に！
説明を受けて、残念ではあるが再編統合はやむを得ないのかなという印象。それをふまえ、統合した際、海部小学校の少人数ならではのきめこまやかな指導（少人数の生徒にサポートの先生方2、3人）や一人一人にゆき渡る ICT 教育が失われないか心配。
住民としては、町で決まった所で住民に説明するのみ。意見を言っても変更は出来ないと思っています。
説明会を聞いて統合せざるを得ないことは理解できました。複式学級になることでの子どもへの影響を考えると、こどもが学習をきちんと受けることができる環境が一番だと思います。スケジュールがわかったのでよかったです。 ただ個人的には、自分も小学校に行っている時に学校が統合したタイミングだったのですがごく複雑な気持ちになったのを覚えています。「海部」というのがなくなるさみしさ、新しい環境になる不安、いろいろ思いました。子どもたちへの説明、精神的なケアはしていただけるとありがたいです。本当は統合してほしくないですが…。海部小学校の良さはなくさないでほしいです。また海部地区との交流、地域住民や海部という場所での学習も残してほしいです。
丁寧な説明と慎重な検討に感謝しています。但し、住民アンケートの質問の仕方「やむをえない」などにはバイアスがあったのではないかと思います。 また、私たちは海部に住み、小学校が無くなるという立場の当の本人なので、その立場に立って表現などもよく考えて頂きたいです。
今の現状、今後の見通しを考えても再編統合は適切ではと思います。質問の中でも何回かありましたが、令和10年に統合決定を宣言してから色々な解決策や改善策を模索していくのと、複式学級が増えたら統合予定であり、令和10年度になるので考えていくと言うスタンスでは子ども、保護者、住民の心構えや覚悟が変わってくると思います。 全員が統合について本気で考えていけるように、令和10年への統合宣言をきっちりしてもいいのではと思います。

・教育関係者の意見

統合ありきの会であったように思う。合意形成はむつかしいと思う。もっと子どもの意見をきくべき。
丁寧な説明をしていただき、ありがとうございます。 小学校2校体制にして、すぐに1校体制になるのなら、一気に1校体制にしたほうが旧3町の方々も納得できるのかなと思います。
海部小ー海部中出身として当然統合はしてほしいが、データで見れば納得せざるをえない部分がある。
令和3年に聞いた時には驚き、今も母校がなくなることは文化の灯が消えるように淋しい限りですが、繰り返し説明を受けることで、納得できました。
ホームページや広報で周知してきたり、学校のあり方検討委員会で審議を重ねてきましたが、地域住民や保護者の関心が低いと感じることが多いです。本当は統廃合、再編に一番声をあげたい思いのある子供の意志、保護者の気持ちが聞き取れていないような気がします。今はSOSを伝えるのが皆が苦手な時代です。そんな時代だからこそ、子どもありきで子どもの現状、保護者の現状を理解し、心情を汲み取り、再編を機に心を痛めて学校へ行きづらい子どもが増えないように慎重に考えていかなければいけないと思います。交流の機会は少ないと思う。

・自治会など地域の団体の方の意見

私自身海部小学校の現在の建物の1回目の卒業生でできるなら残してほしい気持ちは充分にあります。 でも複式学級で学ぶことを思えば統合した方がいいのではないかと思います。 学校を海南小学校にするのであれば名前（校名）は海部小学校にしたらどうでしょうか。
学校が1校なくなる事は大変残念な事で、地域ががらりと変わると思います。統合した後、海部小学校が廃校になった跡地が悲しい姿にならないようにお願いします。

・その他の立場の方の意見

もっとすべき

◆ 穴喰小校区住民の意見

・ 保護者の意見

必要だと思います。心の準備といえはよいかわかりませんが、意識を向けるという事で必要だったと感じました。

海部西保育所が閉所になり、かいよう保育所とかいようこども園が立ち上げられた時は保護者等に全然説明がなく、通う子どもたちや保護者のことが置いていかれたように感じたので、このように定期的に説明会を開いてもらうことは、子どもや親たちも心の準備ができて良いと感じる。

説明会もあり、期間もあったので保護者も子供達も心の準備もでき不安なく学校に通いやすいと思います。

たくさん説明があったとは思えないが、海南・海部地区の該当する人たちには、もっと細かな説明があったのか。

次に穴喰が統合するときは何度か説明会が開かれるのか。

・ 教育関係者の意見

説明の場は設けられていたが、周知や理解が得られていたかと言うと十分でないと感じる。周りの学校関係者や地域住民の多くが、先日（6月）の会合による伝達や新聞による報道で初めて知ったという声も聞く。もう少し広く周知ができたのではないかと感じる。

穴喰地区の小中学校はパッケージスクール（小中一貫校）という選択肢は検討されたのか知りたい。

・ その他の立場の方の意見

地域の意見を聞き進めてきたことはとても良いと思います。これからも決定したことなどを分かりやすい形で情報を公開してほしいと思います。

◆ 居住地区無回答の方の意見

・ 保護者の意見

海部・海南地区は統合しても移動が近いが、穴喰は、一番奥なら久尾辺りから来る人もいると思います。いずれは一校になると思いますが、海部・海南小がくつつくなら、穴喰小・中がとりあえずくつつく方向だと思ってました。中学校がくつつくなら海部・海南地区ではなくて、穴喰地区にはできないでしょうか。

・ 自治会など地域の団体の方の意見

合意形成はまだ不十分であると感じる（海部地区）

問4 学校再編準備委員会（仮称）の設置・運営について、どのように進めるのが望ましいと考えますか。（自由記述）

◆海南小校区住民の意見

・保護者の意見

保護者、関係者だけでなく、他の関係や子供達の意見が反映されるようにしてほしい。どのような校風や教育方針にしていく予定なのかももっと考えていくべきかと思います。町の理想や理念をしっかりと定めて欲しい。 子供たちの交流も増やして安心した合併計画をして欲しい。 せっかく川上小・浅川小・海南小、海部西・東小合併のノウハウがあるのだから活かして欲しい。個人的には、教室・クラスメイトの人数がある程度いる方が良いと思う。
まだ詳細が決定しておらず、これからだとは思いますが、もう少し広報に力を入れてもよいのではないかと思います。町民の中にも気にしている人は多いイメージをもっています、そのわりに情報量が少ないかと思っています。
・足なみをそろえたメンバーで良き再編できるよう構成してもらいたいです。 ・多様な意見を持った人たちで構成してほしいです。
各地域（海部－海南）、学校関係者、PTA 保護者等、放課後こども教室の関係者を含めた構成員で行って、いろいろな意見を出して運営してほしい。 ICT の質が高い教育や、モデル校を引き続き新しい小学校で実施できる学習体制をしてほしいです。 特別支援の学級の受け入れ体制を十分に準備してほしい。 ※学校の先生、現場の意見や子供の意見、ふるさと教育についても十分に聞き取り、参考にしてほしい。
児童だけの問題にとらえず、町民流出（高校卒業後）をふくめた町全体的に考えるべき。
様々な意見を大切にしていき、誠実に向き合ってもらえれば、納得してもらえらる
決定か決定じゃないかは早めに分かりたいです。はっきりしてもらえたほうが準備がしやすいと思います。
決定！とか、きっぱり決めていいと思います。結局、文句言う人は文句言います。 海部地区とか遠い…ってなるかもしれませんが、浅川の奥の子とか川上の奥の子とか変わらないと思います。
早くすすめてほしい。 子供へのアンケートについて今まで育った所しか知らないのだから当然海部であれば反対が多くなるのでアンケートは必要だと思うがあまり意味がない。 複式学級確定でない意見があったが、もしなった時に複式学級になるデメリットしかない。 少人数で複式学級だったので中学校で一つになった際に学力の差が出る。 将来一校一校体制になるなら早い方がよい。
このまま進めて頂いてかまわないと思います。
令和 10 年統合決定で進めてもらった方が安心する。
保護者や子どもたちの声をしっかり取り入れて進めてほしいです。子どもたちが楽しく学校生活をおくれるのが一番だと思います。
資料に記載されている進め方でよいのではないかと思います。会でも意見がありましたが、適宜委員会で話し合われている内容をご共有いただけるとありがたいです。

各代表者からの声を確実に吸い上げて保護者、子どもとともに一番負担のかからない、特に海部地区の保護者、子どもの声を尊重して運営していただければと思います。そして決定していった事項については、学校、町の広報紙等で積極的に随時周知していただければと思います。

・教育関係者の意見

子供の感覚を直に知っている教員の意見を尊重していただきたい。今後の内容についても情報を発信してほしい。

・自治会など地域の団体の方の意見

子供達ともこの事について話し合っ欲しいと思います。

・その他の立場の方の意見

放課後は分けるより一緒にしたら良いと思います。遊ぶ相手が少数であると限られてくるので、スクールバスの運営等で調整できれば可能だと思います。

子どもたちを中心に考え、十分な議論を進めてほしい。海南小海部小の先生、PTAの方の意見を参考に新しい学校を作ってほしい。準備万端、ていねいに進めてほしいです。

広く町民の皆さんに知っていただき、また参加していただいて、みんなで考えられる委員会にしてほしい。

いろいろな人の意見があると思いますが、子ども達にとって一番よりよい学校になるように進めて行ってほしい。各学校の良い所を残し、進めて行ってほしいと思います。

海部小の子どもさんは、少ない人数から多くなるので、慣れるまでは気持ちの面でも支えて行ってほしいと思います。

多くの方の意見がとり入れられる様に委員会の選考をしてほしい。

◆海部小校区住民の意見

・保護者の意見

統合した事例外の意見を聞ける委員会であってほしいです。
できるだけはやく決めて欲しいのは、体操服はどうなるのか。学校で使うものは、どう変わるのか、知りたいです。サイズを考えて早めに準備したいので、早めに決めて欲しいです。設置・運営されたときに話し合いの内容など報告してほしいです。
子ども達へきちんと説明を。町として、説明会開きましたよーという形だけでは進めてほしくないです。
伝統を消すのは一瞬、歴史はすぐつくられない。中立の立場の人も話し合いに入ることはできないのか。
たくさん話しをきいて不安が少なくなりました、ありがとうございました。
最終的な決定は委員会にゆだねられると思うが、住民（特に統合に関わる生徒を持つ家庭）の意見も取り入れられる仕組みも必要かと思う。 本日の住民説明会は統合に向けて、上記家庭の方の意見がたくさん聞けて良かった。
・子供達の交流について、特に海部小の子供達の環境変化への受け入れ、海南小の子供達の受け入れる気持ちをはぐくんで頂きたい。 ・海部地区へのリスペクトを続けて行ってほしいです。 ・学校跡活用について、ほったらかしにならないように。
行政や教育関係者だけでなく、住民や保護者、子どもの意見も重視してほしいです。また、校歌、閉校式など学校に関わる準備に子どもも入れてもらえたらうれしいです。
令和8年度中の設置は時期的にやむをえないが、令和9年度に計画を実行するかどうかの判断は、年度末までギリギリまで慎重にしてほしいです。
現在の計画通りで、おおむねいいのではないかと思います。が、特別支援を受けられているお子さんについては教員が変わることが負担になるお子さんもいると思います。特別支援を受けられているご家庭に対しては個別にアンケートやアプローチをしていただき、ご家庭の要望をなるべく叶える形で統合運営について検討していただければと思います。 ご意見の中でも出ましたが、各小学校、中学校の授業の中で委員会参加のディベート授業や統合した時、しなかった時のメリット、デメリットをみんなで考え、統合時にはそれを解決するためにどうすればいいかなどを考える授業を取り入れることも考えてみていいかもしれないと思いました。 子どもたちにとっても、人生でなかなか経験する事のない特別な体験になると思うので、自分たちの学校生活や海陽町の問題を考える1つのテーマにできれば自分たちが考えた学校、作るのにたずさわった学校としてすばらしい思い出になるのかなと思います。

・教育関係者の意見

・様々な年代層に声をかけて、これからの海陽町をどうしていきたいかも含めて話をしたい。 ・基本アンケートや対面でしっかり話し合う場をとってほしい。
是非子どもの委員（意見）をおいてほしい。委員は公募とか、各学校間でもっと交流してほしい。
児童数が減ったから統合というマイナス的な思考ではなく、統合していかにも魅力ある学校にしていくかという、プラス的な思考で進めていただければと思います。 「教育は人なり」と言います。学校が魅力的であれば良い人材も集まってくると思います。そう言った良い循環になるよう願っています。
①統合となり SB の数や送り迎えが増えた際、現状の海南小前の道路では事故の可能性や混雑が強く予想されるため、解決する必要がある。 ②海陽中の合併の際は、海部中から教員が2名しか来られず、苦勞されたと聞く。海南小の通常の教員配置代えて終わるのではなく、海部小からも教員の異動を増やすなど、考慮する必要がある。海部小の子供たちのことをよく知っている複数人の力が新しい学校には必要である。
代表者の他、関係者にも住民の方にも意見を聞きつつ進めてほしいです。現在も海南・海部で定期的に交流はしていますが、もっとスムーズにできるよう他の行事等も精選してカリキュラムを組んでほしいです。
・準備委員会の設置について、保護者や、今後海南小海部小に入学される方や、登校される方にたくさん意見を言ってもらえる準備委員会の設置、運営であってほしい。 ・放課後教室の場所や運営の仕方について、登下校のスクールバスの順路や、出発時間についても早めに案を出して早めに保護者にお伝えしていただきたい。 ・今後アンケートを取る際には、保護者はランダムではなく、全員の保護者の意見を聞いていただきたい。 海部小学校が今できている質の高い教育、魅力ある教育を失うことがなく今後の海陽町の学校教育がより質の高い希望ある再編になりますように。

・自治会など地域の団体の方の意見

実際に学校に関係のある人で運営してほしい。
利活用や学校再編準備委員会では、子供や保護者の声をよく聞いて納得していただけるように、慎重に審議してわかりやすく、ていねいに説明をしてほしい。

・その他の立場の方の意見

保護者、生徒の意見を大切に

◆ 穴喰小校区住民の意見

・ 保護者の意見

ぜひ一部のメンバーで進めるのではなく、一般の保護者も含めた、広いメンバーの色々な意見をきいた上で、じっくりと検討して行ってほしい。保護者としては、少人数が必ずしも良いとは思っていません。1クラスしかない中で、もしクラスメイトが合わなかった時、クラス替えがないと子どもにとってはずっと同じメンバーで過ごす辛い状況になります。また部活動をする時も複数校と合同でないと成り立たないとなると、移動時間があったり、マイナスな面が出てくるので、統合するのならしっかりと準備して進めて下さい。

子供の減少は目に見えて分かる事ですが、穴喰には学校（1校）残して頂きたいと思います。

どのように決めているのか、よくわからない。

・ 教育関係者の意見

協議内容について、しっかりと広報していただくことが大切かと思う。また、今はオンライン（フォームズ）での意見集約も容易なので、それらを活用し、より多くの意見を吸い上げ、合意形成がはかれることを願う。

・ その他の立場の方の意見

地域の様々な立場の方の意見が届くよう設置、運営をしてほしいと思います。穴喰から海部、海南などは少し距離があるため、統合した後も地域の灯がきえないようにいろいろと工夫して行ってほしいと思います。よろしくお願い致します。

◆ 居住地区無回答の方の意見

・ 保護者の意見

PTA 会長はずっとこの議題が終わるまで、委員会にたずさわっているのでしょうか？元校長先生と色んな方がしてくださるのはありがたいのですが、現小学校、中学校の保護者や子供たち。これからの子供たちや保護者の意見はどのように聞きとっていくのでしょうか。

卒業していく、という人たちは関係ないからとあまり関わらないと思うので。

現時点では穴喰地区は小・中と残してほしいです。学校を統合しても。まずは、子供が増えていないのがなぜなのかを考えてみてはいかがでしょうか。

・ 自治会など地域の団体の方の意見

特に海部小学校の子どもたちの心のケア体制を確立。子どもたちの意見をしっかりと聴いて進めてほしい。保護者、地域の人たちの声を意見をしっかりと聴いて進めてほしい。

それぞれの地区での説明、質問に対する答弁が違っている点があるのが非常に気になります。

海陽町立小・中学校の再編に係る住民説明会
アンケート



問1 お住いの地区はどこですか (○は1つ)

- 1 海南小校区 2 海部小校区 3 宏喻小校区

問2 あなたの立場を教えてください。(○は1つ)

- 1 保護者 2 学校関係者 3 自治会など地域の団体
4 その他()

問3 海部小学校と海南小学校の再編統合について、令和3年から今まで、地域の意見を聞き、学校のあり方検討委員会での審議結果を住民説明会や町の広報で説明を繰り返し、合意形成を進めてきたことについてどう思いますか。

[illegible]

問４ 学校再編準備委員会（仮称）の設置・運営について、どのように進めるのが望ましいと考えますか。

[illegible]

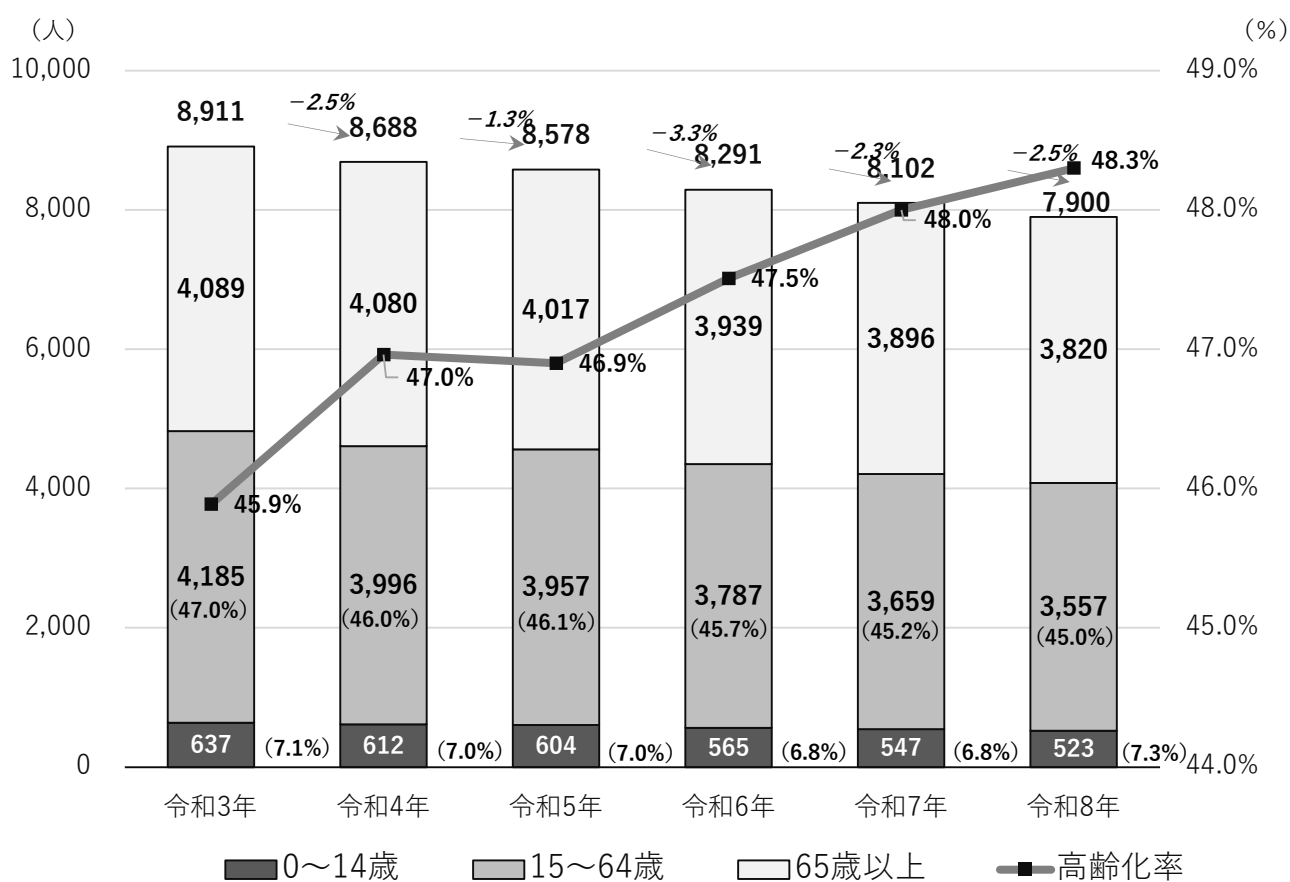
4 地域住民説明会資料

令和8年度海陽町学校再編計画 住民説明会資料

I 海陽町の人口推移について

①年齢別人口について

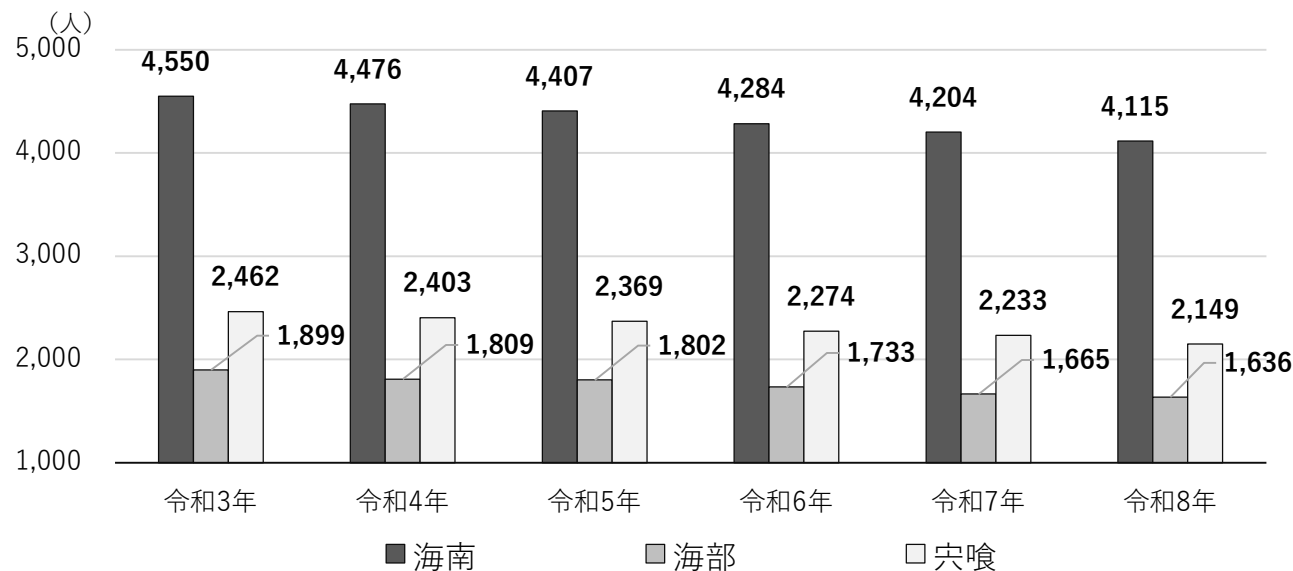
海陽町の人口推移をみると、令和3年から令和8年にかけて毎年2%前後減少しており、5年で1,011人減少しています。年齢3区分別にみると、いずれの年齢区分も令和3年から減少を続けています。また、高齢化率は増加傾向にあり、5年で3.4%増加しています。



各年3月末時点

②地区別人口について

地区別の人口推移をみると、いずれの地区も令和3年から令和8年にかけて減少を続けており、5年間の減少数は海南地区で445人、海部地区で263人、穴喰地区で313人となっています。地区別の人口比率は大きく変動はありませんが、海南地区の比率が5年で1.0%とわずかに増加傾向にあります。



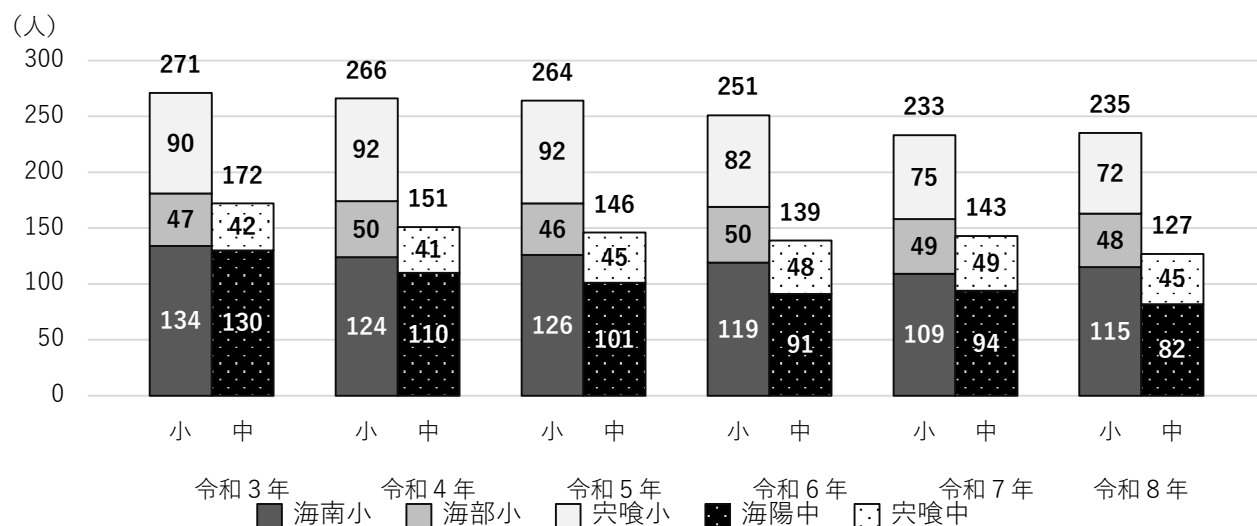
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
海南	51.1%	51.5%	51.4%	51.7%	51.8%	52.1%
海部	21.3%	20.8%	21.0%	20.9%	20.6%	20.7%
穴喰	27.6%	27.7%	27.6%	27.4%	27.6%	27.2%

各年3月末時点

③小学校の児童、中学校の生徒数について

<小学校の児童、中学校の生徒数の推移>

小中学校の児童・生徒数の推移をみると、児童数・生徒数はともに減少傾向にあり、令和3年から令和8年にかけて小学校の児童数は36人、中学校の生徒数は45人減少しています。学校別には、海部小と穴喰中は横ばいとなっていますが、その他の3校は減少しています。

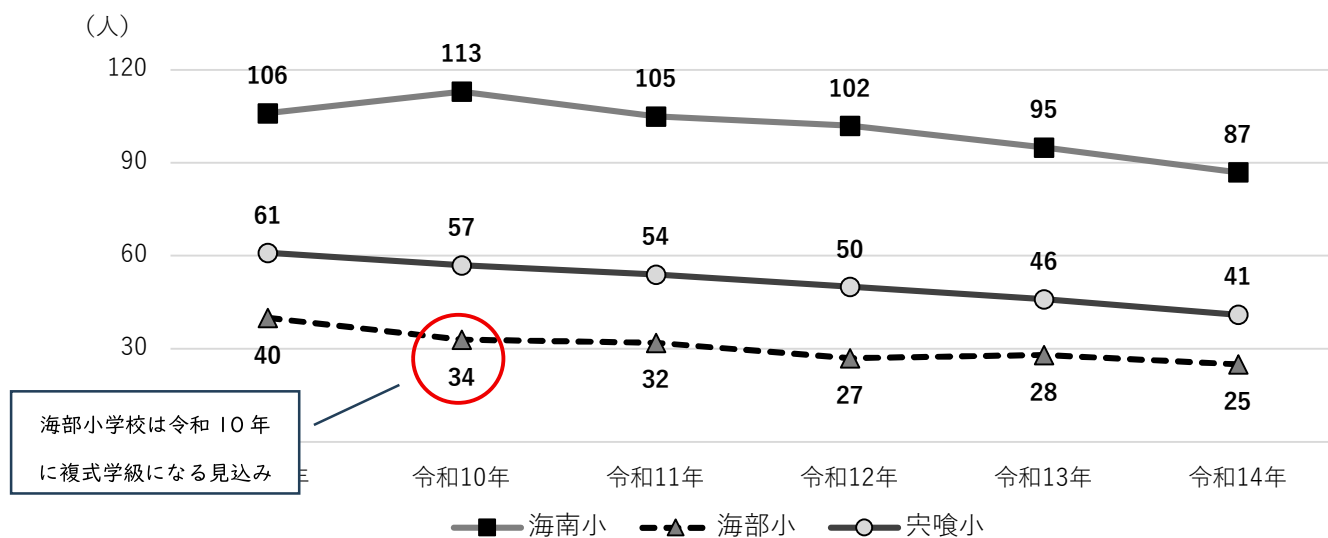


各年5月1日時点

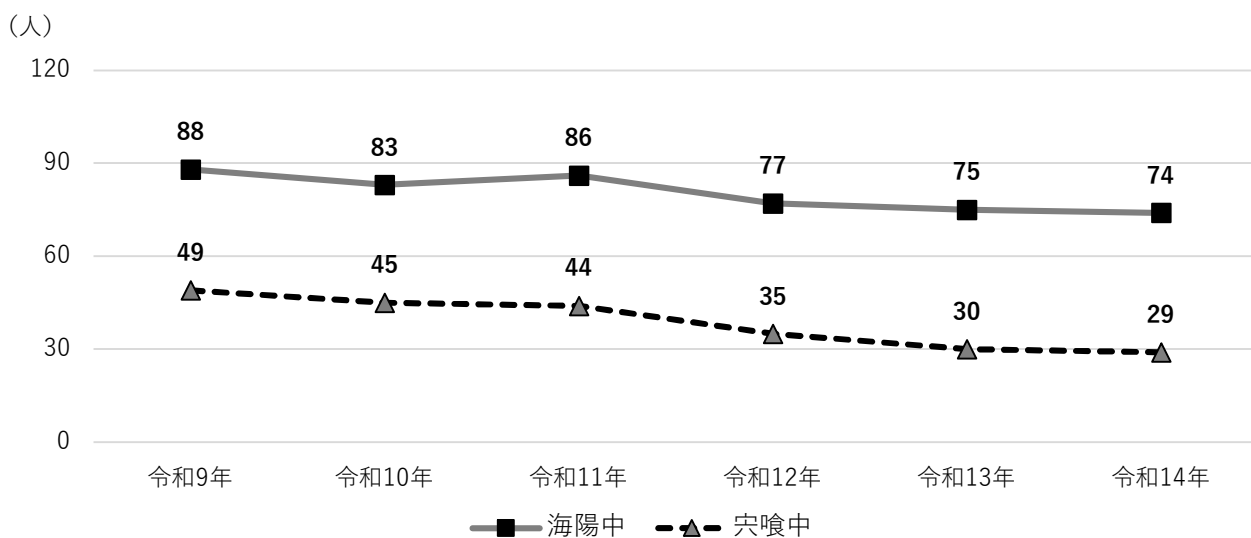
<小学校の児童、中学校の生徒数の今後の見込み>

今後の児童・生徒数の推計をみると、令和14年には小学校児童が153人、中学校生徒数が103人となる見込みです。令和9年と比較すると、小学校児童は54人、中学校生徒は24人減少することになります。学校別にみると、いずれの学校も減少傾向にあります。特に海部小、穴喰小、穴喰中は5年間で児童・生徒数が令和9年の半分近くまで減少することが想定されています。

(小学校)



(中学校)



各年5月1日時点

<小学校の学年ごとの児童・生徒数の推移> ※R8.5.1 時点の児童・生徒数

	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童総数
	年度							
海南小	令和7	18	16	23	14	24	14	109
	令和8	18	18	17	23	14	25	115
	令和9	17	18	18	17	23	14	107
	令和10	21	17	18	18	17	23	114
	令和11	15	21	17	18	18	17	106
	令和12	13	15	21	17	18	18	102
	令和13	11	13	15	21	17	18	95
	令和14	10	11	13	15	21	17	87
	令和15		10	11	13	15	21	70
	令和16			10	11	13	15	49
	令和17				10	11	13	34
海部小	令和18					10	11	21
	令和19						10	10
	令和7	5	9	4	11	10	10	49
	令和8	10	5	9	3	11	10	48
	令和9	3	10	5	9	3	11	41
	令和10	4	3	10	5	9	3	34
	令和11	3	4	3	10	5	9	34
	令和12	4	3	4	3	10	5	29
	令和13	6	4	3	4	3	10	30
	令和14	5	6	4	3	4	3	25
	令和15		5	6	4	3	4	22
穴喰小	令和16			5	6	4	3	18
	令和17				5	6	4	15
	令和18					5	6	11
	令和19						5	5
	令和7	9	9	12	14	18	13	75
	令和8	11	9	8	12	14	18	72
	令和9	6	11	9	8	12	14	60
	令和10	10	6	11	9	8	12	56
	令和11	9	10	6	11	9	8	53
	令和12	5	9	10	6	11	9	50
	令和13	5	5	9	10	6	11	46
海南小 海部小	令和14	6	5	5	9	10	6	41
	令和15		6	5	5	9	10	35
	令和16			6	5	5	9	25
	令和17				6	5	5	16
	令和18					6	5	11
	令和19						6	6
	令和7	23	25	27	25	34	24	158
	令和8	28	23	26	26	25	35	163
	令和9	20	28	23	26	26	25	148
	令和10	25	20	28	23	26	26	148
	令和11	18	25	20	28	23	26	140
海南小 海部小 穴喰小	令和12	17	18	25	20	28	23	131
	令和13	17	17	18	25	20	28	125
	令和14	15	17	17	18	25	20	112
	令和15		15	17	17	18	25	92
	令和16			15	17	17	18	67
	令和17				15	17	17	49
	令和18					15	17	32
	令和19						15	15
	令和7	32	34	39	39	52	37	233
	令和8	39	32	34	38	39	53	235
	令和9	26	39	32	34	38	39	208
	令和10	35	26	39	32	34	38	204
	令和11	27	35	26	39	32	34	193
	令和12	22	27	35	26	39	32	181
	令和13	22	22	27	35	26	39	171
	令和14	21	22	22	27	35	26	153
	令和15		21	22	22	27	35	127
	令和16			21	22	22	27	92
	令和17				21	22	22	65
	令和18					21	22	43
	令和19						21	21

< 中学校の学年ごとの児童・生徒数の推移 > ※R8.5.1 時点の生徒数

	年度 \ 学年	1年	2年	3年	生徒総数
海陽中	令和7	30	30	34	94
	令和8	22	30	30	82
	令和9	35	22	30	87
	令和10	25	35	22	82
	令和11	26	25	35	86
	令和12	26	26	25	77
	令和13	23	26	26	75
	令和14	28	23	26	77
	令和15	20	28	23	71
	令和16	25	20	28	73
	令和17	18	25	20	63
	令和18	17	18	25	60
	令和19	17	17	18	52
	令和20	15	17	17	49
	令和21		15	17	32
	令和22		0	15	15
穴喰中	令和7	18	16	15	49
	令和8	12	17	16	45
	令和9	18	12	17	47
	令和10	14	18	12	44
	令和11	12	14	18	44
	令和12	8	12	14	34
	令和13	9	8	12	29
	令和14	11	9	8	28
	令和15	6	11	9	26
	令和16	10	6	11	27
	令和17	9	10	6	25
	令和18	5	9	10	24
	令和19	5	5	9	19
	令和20	6	5	5	16
	令和21		6	5	11
	令和22		0	6	6
海陽中 穴喰中	年度 \ 学年	1年	2年	3年	生徒総数
	令和7	48	46	49	143
	令和8	34	47	46	127
	令和9	53	34	47	134
	令和10	39	53	34	126
	令和11	38	39	53	130
	令和12	34	38	39	111
	令和13	32	34	38	104
	令和14	39	32	34	105
	令和15	26	39	32	97
	令和16	35	26	39	100
	令和17	27	35	26	88
	令和18	22	27	35	84
	令和19	22	22	27	71
	令和20	21	22	22	65
	令和21		21	22	43
	令和22			21	21

④児童・生徒数の減少について

児童・生徒数の減少は、学校運営や児童・生徒の学習環境に影響を及ぼします。1つの学年の児童・生徒数が減少し、かつ、1クラスの人数が県基準の人数を下回ると複式学級となり、2つの学年が同じ教室で授業を受けることになります。

複式学級となると、以下のような課題、児童・生徒への影響が生じます。

(課題)

- ・クラスの枠組みを活用した活動ができないことで、集団の中で多様な意見に触れる機会の減少、集団の中で切磋琢磨する機会が減少します。
- ・クラブ活動、学校行事の種類が限定され、教育効果が減少します。
- ・加配の教員が配置されなくなり、教員一人当たりの仕事量が増え、他の教員の支援体制も構築しにくいことが発生します。
- ・異なる学年と一緒に授業を受けることにより、指導技術、指導準備などで、教員の負担がさらに増えます。
- ・授業環境により、一部の活動に制限が生じることがあります。

(児童・生徒への影響)

- ・社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい。
- ・進学の際、大きな集団への適応に苦勞する可能性がある。
- ・協働的な学びの実現が困難であること。
- ・切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。
- ・教員それぞれの専門性を生かした教育が受けにくい。
- ・多様な視点、考えに触れることが難しい。

Ⅱ 海陽町の教育について

第4期海陽町教育振興基本計画では、次のような特徴ある教育の推進が挙げられます。

基本理念	つながる ひろがる 未来へ活かす 学びのフィールド海陽町
------	------------------------------

①グローバル教育

海陽町では、中学校を卒業する時期には全員が簡単な英会話ができる状態をめざして、英語教育（グローバル教育）に取り組んでいます。

こども園でのイメージ保育や、小学校へのオールイングリッシュ授業の導入、地域資源を題材とした英語での発表の機会などを通し、子どもの英語力やコミュニケーション能力、多様性を尊重した協働力、自発的な探求力を高め、多様な価値観を持った人々との相互理解や協働ができるグローバル人材を育成しています。

令和7年度に教育振興計画の策定にあたって保護者を対象に実施したアンケートでは、町の学校教育で今後力を入れる必要があることとして、「英語教育（グローバル教育）」が55.4%で最多回答となっており、保護者の関心が強い取組であることがうかがえます。

また、グローバルな視点を持ちながら自らの地域を見つめなおし、地域社会に貢献できる人材を育成するグローバル教育も実施しています。令和5年度より町内の中学校の総合的な学習の時間に「グローバル」コースを設けており、町内在住の外国人に対するインタビューや地域の自然・文化などの魅力の英語での発信などの活動を行い、グローバル人材に求められる能力を高めるとともに、活動を通じたシビックプライドの醸成もねらっています。



ネイティブスタッフによる授業

②ICT 教育

海陽町では、一人一台端末など ICT 環境の整備が行われています。これら機器を活用し、児童・生徒の教育の質と機会の向上を推進しています。

オンラインでの英語授業や交流、英語を用いた Vlog 形式での地域資源の発信など、ICT 機器はグローバル（グローバル）教育においても活用されています。

令和7年度実施の保護者アンケートでは、町の学校教育で今後力を入れる必要があることとして、「ICT 環境を活かした授業」は38.4%となっており、4割近くの保護者が重要視しています。



オンライン英会話授業

Ⅲ 再編統合の進め方について

海陽町学校再編基本計画では、学校の再編統合にあたっては、海陽町の教育における特徴を継承することが重要としています。

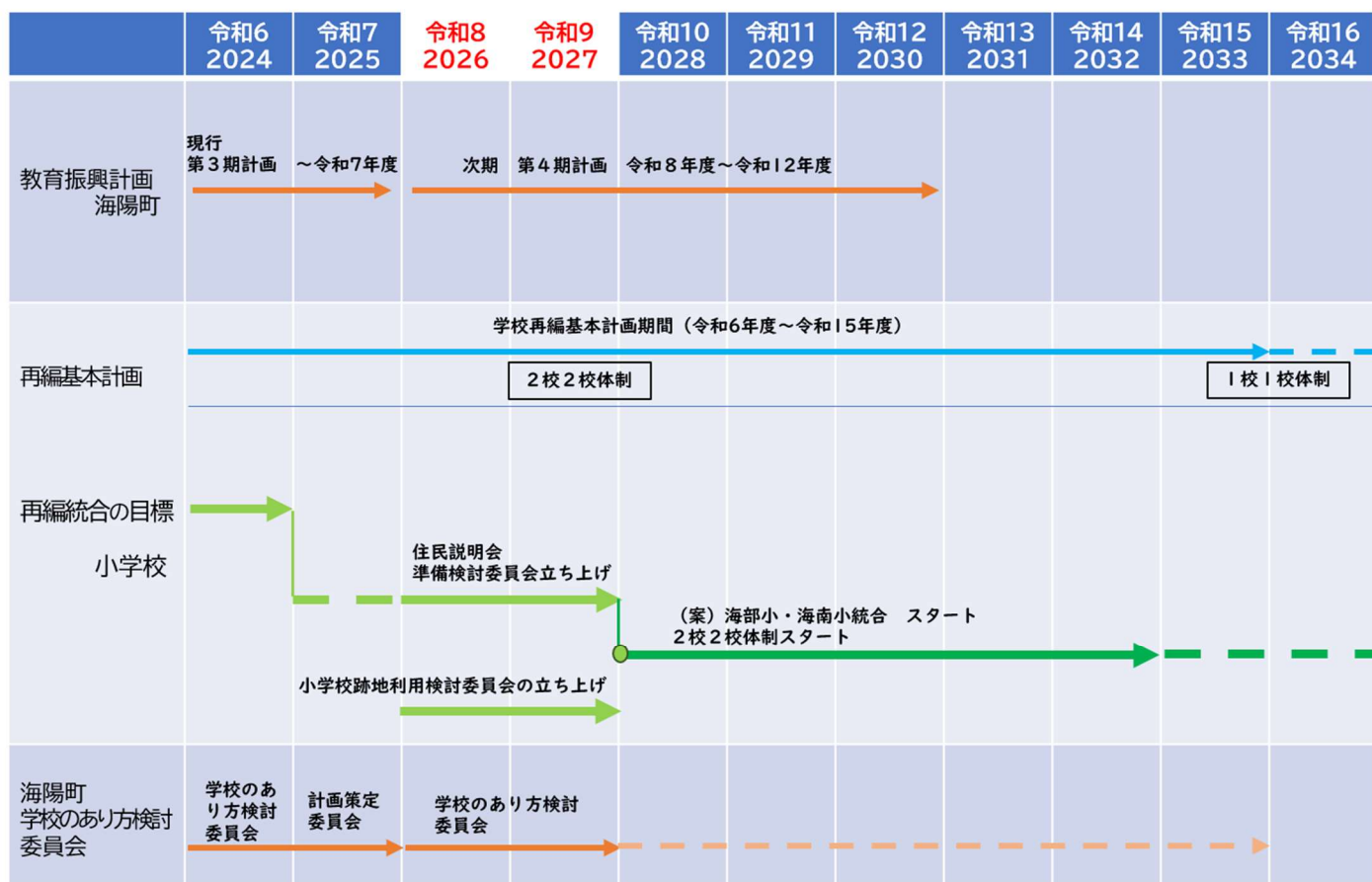
海陽町の学校の再編統合については、児童の通学距離、統合した場合の学校規模を考え、海部小学校と海南小学校を統合し、海陽中学校区を1つの小・中学校へ編制し、穴喰小学校と穴喰中学校はそのまま穴喰中学校区とすることが適切であると考えます。両中学校区において、チェーンスクール方式を継続あるいは導入する等の方策を立て小中一貫教育を推進していく体制が望ましいと考えます。

統合する学校の位置については、海南及び海部地域は、学校の敷地の広さや活用できる教室数などの規模を想定すると海南小学校の位置で統合が望ましいと考えます。

さらに、小・中学校ともに複式学級が発生しないようにすることに加え、規模の拡大により中学校での部活動など子どもの学習における選択の幅を広げることなどから、1校1校体制への移行も重要です。1校1校体制へ移行する際には、津波等の自然災害に対する安全性の配慮を十分踏まえるものとし、学校の位置を高台へ新設する等やパッケージデザインの検討を行う事が望ましいと考えます。

■海陽町学校のあり方検討について

・令和8年度 海陽町学校再編統合スケジュール



Ⅳ 再編統合に伴う準備事項について

学校の再編統合にあたって、統合した学校の「校名」「校歌」「校章」「制服」「スクールバスなどの通学体制」などの決定方針や統合予定の学校同士での児童生徒の交流事業、統合に伴う閉校関連事業などについて検討する必要があります。これらの検討にあたって、各学校のPTA、地域住民、学校関係者などからなる「学校再編準備委員会（仮称）」を設置します。

○学校運営への配慮

- ・再編実施前の一定期間には各学校間での交流事業等を行う
- ・特別な支援を要する児童生徒に対しては、個別の教育支援計画等を確実に引き継ぐ
- ・新たな学校生活への円滑な移行が行えるよう児童生徒へ支援について検討する
- ・教職員や保護者等の戸惑いや不安を把握する
- ・各学校のコミュニティ・スクール、放課後こども教室の運営を話し合う

○海南小学校・海部小学校再編準備委員会（仮称）＞

○委員	学校関係者（海南小、海部小）の校長・教頭 海陽中学校の校長 保護者代表 住民代表者 教育委員会
○協議事項	校名、校歌、校旗、校訓・校則、PTA会則、制服・体操服、閉校式、記念誌の発行等

別組織として、「海部小学校跡活用検討委員会（仮称）」の立ち上げを進めます。

海南小・海部小再編スケジュール案

【 令和8 年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校のあり 方検討委員会				○ 第1回 7/6	第2回 予定							
住民説明会		中央地区 7/13 海部地区 7/14 海南地区 7/15		○								
学校再編準備委員会（仮称）						第1回 委員等選出等			第2回		第3回	
①校名・校歌関係								検討期間				
②通学関係								検討期間				
③地域・PTA関係								検討期間				
④学校教育関係								交流授業等検討期間				
⑤式典関係								検討期間	準備・記念誌など			
学校跡活用検討委員会（仮称）											委員会設置準備期間	
【 令和9 年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
住民説明会							海部地区・海南地区					
学校再編準備委員会（仮称）		第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回
①校名・校歌関係					準備・校歌作詞作曲など							
②通学関係			検討期間					住民説明会後通学計画確定				
③地域・PTA関係			検討期間					住民説明会後再検討			PTA解散ー新組織へ移行	
④学校教育関係					交流授業など							
⑤式典関係									準備・閉校式・開校式・行事など			
学校跡活用検討委員会（仮称）												

以下、再編統合にあたっての決定事項・スケジュール感の参考資料として、平成21年度に実施された海南中学校と海部中学校の統合検討委員会および、旧海南町の三小学校の統合検討委員会、平成22年度に実施された小中学校統合執行委員会で審議された内容を掲載します。

<海南中学校・海部中学校統合に係る検討委員会>

○委員	住民代表者2名、学校関係者8名（統合する二中学校（海南中、海部中）の校長・教頭、統合する二校の校区の小学校長（浅川小、海南小、川上小、海部小）、保護者代表6名（関係する小中学校のPTAの代表者）、教育委員会関係4名
○協議事項	第1回（6月30日） 校名について（協議結果：各小・中学校、PTAに持ち帰り再度協議）
	第2回（8月5日） 校名について（協議結果：「海部」「海南」「海陽」のどれにするか次回協議）
	第3回（9月4日） 校名について（協議結果：委員全員の無記名投票により「海陽中学校」に決定）
	第4回（10月30日） 校歌について（協議結果：作詞・作曲は専門家に依頼する、人選や交渉は教育委員会が実施する）
	第5回（12月7日） ①校章について（協議結果：海南中の校章を継承する。） ②校旗について（協議結果：海南中の校旗を継承する（「海南中学校」と刺繍された部分は「海陽中学校」と織り直す）
	第6回（2月16日） ①閉校式について ②記念誌の発行について ③制服・体操服について

<海南町立三小学校の統合に係る検討委員会>

委員：

協議事項：

○委員	3校（浅川小、海南小、川上小）の校長、教頭、保護者代表、地区住民代表（公民館、民生・児童委員）、教育委員会職員
○協議事項	①校名について ②校歌について ③校章について ④制服について ⑤閉校式について ⑥記念誌の発行について ⑦浅川小、川上小の跡地活用について

<海陽町立小・中学校統合執行委員会>

○委員	学校関係者 10 名（統合する二中学校（海南中、海部中）と、統合する三小学校（浅川小、海南小、川上小）の校長・教頭）、保護者代表 5 名（関係する小中学校の PTA の代表者）、教育委員会関係 3 名
○協議事項	第 1 回（6 月 4 日） ①記念誌の発行について（進捗状況） ②教材、教具、遊具等の仕分け、搬出・搬入、不要になった教材、教具、遊具等の処分・保管（小学校・中学校で話し合う） ③閉校記念行事（お別れ会等）について（全体での記念行事は必要か） ④閉校記念式典について（実施時期について） ⑤閉校になった校舎等の跡利用について
	第 2 回（7 月 29 日） ①記念誌の発行について（進捗状況） ②教材、教具、遊具等の仕分け、搬出・搬入、不要になった教材、教具、遊具等の処分・保管（小学校の取組・中学校の取組の情報共有、パソコン処理、ピアノや机・いすの穴喰小への搬出について） ③自転車置き場について ④自転車通学補助について ⑤校訓・校則について（いつ、どのように決めるか） ⑥PTA 会則について（いつ、どのように決めるか） ⑦校旗について
	第 3 回（11 月 10 日） ①記念誌の作成進捗状況について ②教材、教具、遊具等の仕分けと、統合校への搬出・搬入について ③不要になった教材、教具、遊具等の処分あるいは保管について ④12 月補正にあげる事項について
	第 4 回（2 月 15 日） ①記念誌の作成進捗状況について ②閉校式の在り方について（案内状をどの範囲まで送るか（来賓・一般参加）、祝辞を誰に頼むか）